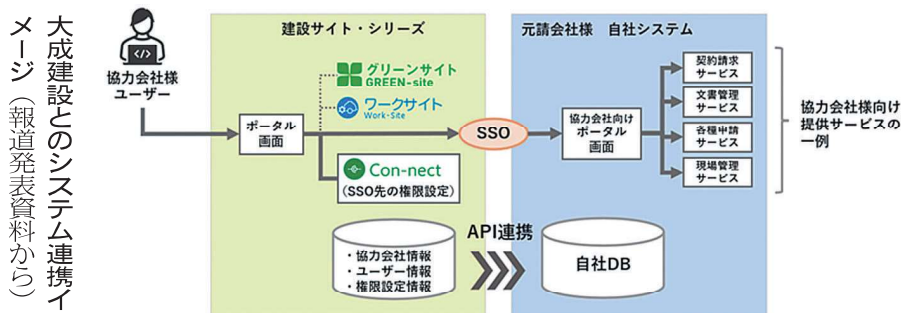


大成建設と連携開始

建設業クラウドサービスに プロジェクト認可管理機能

MCデータプラス



大成建設とのシステム連携イメージ（報道発表資料から）

MCデータプラス（東京都渋谷区、飯田正生社長）は、建設業向けクラウドサービスの建設サイト・シリーズにプロジェクト認可管理機能「Connect（コネクト）」を新規追加し、5月に大成建設の建設プロジェクト管理基盤「Xlgrab（エックス・グラブ）」とシステム連携を開始した。

エックス・グラブは大成建設のグループ企業が利用可能なプロジェクトデータを管理するバックエンドシステム。さまざまなデータを管理しプロジェクトやデータに対するアクセス制御を担う仕組みを備える。

コネクトとの連携で大成建設が管理する各種サービスに協力会社が「建設サイト・シリーズ」のIDとパス

ワードでログインが可能。同シリーズの管理画面上で自社ユーザーのアクセス権を設定できる。

元請会社は支店や現場単位でICTを導入・運用しているケースが多く、横断的に現場を管理・可視化することができなかった。建設サイト・シリーズのユーザー基盤を使うことで一つ

のユーザーIDで複数のICTツールの利用環境を構築でき、全社横断的にデータ整備を行える。協力会社は元請や支店、現場ごと、ツール別に必要だったID・パスワード設定など管理業務の負担が軽減する。

大成建設はアクセス権限の管理を通じて適切にICT活用を促進できるため、

施工管理の大幅な生産性向上を期待している。

今後も両社はシステム連携を継続していく。追加したコネクトは大成建設との連携を第一歩として現状は限定的な提供になる。今後は個別契約にすることで、すべての元請会社が使え標準サービスとして提供していく予定だ。

